

NZ地震

2月22日、ニュージーランド南島のクライストチャーチという所で大きな地震があり、多数の死者も出ており心配です。

日本の若者達は海外への留学をしたがらない傾向が強くなってきているといわれている中で、世界の医療現場で活躍することを目指し語学留学していた看護師の方をはじめ随分多くの留学生在がニュージーランドで学んでいることに、改めて驚かされました。

今なお、28名の方々の行方が不明です。ご家族の皆様の苦衷、察するに余りあります。

留学生の皆さんの志が、一瞬の地震によって絶たれたことは残念でありません。

ニュージーランドには、かなり以前に北島の方ですけれど訪問したことがあります。

季節が日本とは全く正反対ですが、風光明媚で治安も良く、住むには快適な国だなあと思ったものです。こうした国柄に加え、英語圏でもあるということで、留学先としてニュージーランドを選択している若者も多いと思います。

今回の地震は、マグニチュード6.3とそれ程大きくはありませんが、直下型のせいでしょうか大きな被害が出ているようです。

政府は、ニュージーランド政府の要請を受け、間を置かず緊急海外援助隊を現地に派遣しました。不眠不休の捜索にもかかわらず、行方不明

者の救出には繋がらなかったのは非常に残念です。援助隊員の皆さんもさぞかし無念の思いであろうと拝察します。

テレビ映像でしか被害の状況は分かりませんが、日本人留学生の通っていたビルの壊れ方は尋常ではありません。耐震に相当問題があったのではないかと、素人ながら感じます。

今後、建物の所有者の管理責任などが問われることになるのではないのでしょうか。

しかし、いくら責任の所在が明らかとなっても、失われた命を取り戻すことは出来ません。

「災害は何時起こるか分からない」といわれながら、悲しいかな「のど元過ぎれば…」というのも人の性です。

日本でも、学校などの施設の耐震化について、その必要性は認識されながらも財政上の理由からなかなか進まない現状もあります。

他国のこととはいえ、こうして大きな地震が発生したときこそ我が事として受け止め、改めて危機管理について考える契機にしなければと思っています。 （塾頭 吉田 洋一）